

月次運用レポート

2015年7月

目次	ページ
1 特別勘定の種類と運用方針	2
2 運用環境	3
3 特別勘定の運用状況	4
4 ≪参考情報≫ 投資信託の運用状況	5～11
5 リスクおよび諸費用	12

利用する投資信託の委託会社のご紹介

アライアンス・バーンスタイン株式会社



アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGIは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託		参照ページ
			投資信託名	委託会社	
安定成長 バランス型	日本株式 20%	主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券30%、外国債券30%とし、一定の規律に従いリバランス*1を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレン ド・ファンドー2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6
	外国株式 20%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7
	日本債券 30%		ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (上段)
	外国債券 30%		ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (下段)
積極運用 バランス型	日本株式 25%	主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式25%、外国株式35%、日本債券20%、外国債券20%とし、一定の規律に従いリバランス*1を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレン ド・ファンドー2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6
	外国株式 35%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7
	日本債券 20%		ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (上段)
	外国債券 20%		ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (下段)
特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		参照ページ	
		投資信託名	委託会社		
日本株式 プラス型	日本株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレン ド・ファンドー2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	6	
外国株式 プラス型	外国株式 100%	アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	7	
世界債券 プラス型	世界債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファン ドー3	アライアンス・バーンスタイン株式会社	8	
オーストラ リア債券 型	オース トラリ ア債券 100%	アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファン ド (適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	9	
新興国 株式型	新興 国株 式 100%	ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファン ド <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式 会社	10	
金融 市場型	短期 金融 資産 100%	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファン ド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式 会社	11	

※ 利用する投資信託の運用方針は、参照ページにある運用方針をご覧ください。

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。

なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型および外国株式プラス型で利用していた「適格機関投資家私募アライアンス・バーンスタイン・海外株式スタイル・ブレン
ド・ファンドー1」は、2015年4月に償還手続きが開始され(2015年5月26日償還)、2015年4月から新たに「アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド<適格機関投資家私募>」に投資しております。

※ オーストラリア債券型および新興国株式型は、2015年5月1日に設定されました。

・ 2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2015年7月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前月末比+1.79%上昇の1,659.52ポイントで終了しました。
 前半は、ギリシャの国民投票での緊縮策反対や中国株式の急落などを背景に下落しましたが、中国で株価対策が打ち出されたことなどから反発しました。月後半は、ギリシャに対する金融支援再開を巡る協議が合意されたことなどから上昇した後、下落しましたが、その後は中国株式市場が落ち着きを示したことなどから上昇に転じました。
 業種別(東証33業種)では、原油価格の下落基調に加え訪日外国人客増の恩恵期待から「空運業」(前月末比+13.73%)が最も上昇した一方、海外の需要減が嫌気された「鉄鋼」(同△7.59%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、前半、ギリシャ国民投票の結果や中国株式の急落などから下落しましたが、中国株式が反発に転じたことやギリシャが新たな金融支援の前提となる財政改革案を提出したことを受け、上昇しました。月後半は、主要企業の業績見通しが予想を下回ったことで先行き不透明感が強まったことなどから下落しましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)が金融政策の現状維持をFOMC(米連邦公開市場委員会)で決定したことなどを背景に反発しました。NYダウは、前月末比+0.40%上昇の17,689.86ドルで終了しました。
 欧州株式市場は、前半、ギリシャ情勢の不透明感の高まりなどを受けて下落しましたが、EU(欧州連合)がギリシャへの金融支援再開の合意に至るとの期待が高まったことなどから上昇しました。月後半は、7月のユーロ圏総合PMI(購買担当者指数)速報値が低下したことなどから下落しましたが、その後は上昇に転じました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比+2.69%上昇、仏CAC40が同+6.10%上昇、独DAXが同+3.33%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、前半、日銀短観での大企業の景況感改善や国内株式の反発などから、一時金利は大幅に上昇(価格は下落)しましたが、その後は株価の動きなどを受けて低下(価格は上昇)の後、上昇しました。月後半は、原油安や米国長期金利の低下などを受けて緩やかに低下しました。新発10年国債利回りは、月末は0.410%となりました(前月末は0.455%)。
 日銀はマネタリーベースが年間約80兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は概ね0.0~0.1%近辺で推移しました。

【外国債券市場】

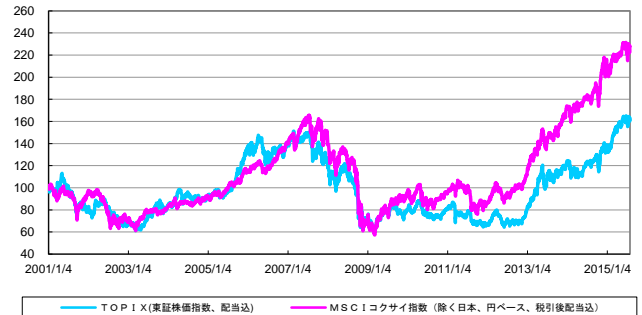
米国債券市場は、前半、ギリシャ支援問題や中国株式の急落による逃避需要などから金利は低下(価格は上昇)しましたが、中国株式の反発やギリシャ支援問題の進展により、上昇(価格は下落)に転じました。月後半は、9月の利上げ開始が意識され上昇する場面もありましたが、リスク回避目的の動きが強まったことなどから、低下基調で推移しました。米10年国債利回りは、月末は2.180%となりました(前月末は2.353%)。
 欧州債券市場は、前半、ギリシャ情勢の不透明感の高まりや、中国株式の急落などを受けて、金利は低下(価格は上昇)しましたが、ギリシャ問題の進展が好感されたことなどを受けて、上昇(価格は下落)しました。月後半は、ユーロ圏の景況感指標の悪化や原油安などから、低下基調で推移しました。独10年国債利回りは、月末は0.644%となりました(前月末は0.764%)。
 FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年0.05%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、前月末比1円59銭円安ドル高の1ドル=124円04銭となりました。前半、ギリシャ支援交渉の難航や中国株式の急落を受けて市場のリスク回避姿勢が強まったことなどを背景に円高が進行しましたが、その後中国株式が反発に転じたことや、ギリシャ支援問題の進展などが好感されて円売りが加速しました。月後半は、2015年4-6月期の米実質GDP(国内総生産)成長率を受け米景況の回復観測が強まったことなどから、揉み合いながらも円安となりました。
 ユーロ/円相場は、前月末比1円48銭円高ユーロ安の1ユーロ=135円75銭となりました。前半、ギリシャ情勢や中国株式の急落などを背景に円高が加速しましたが、ギリシャ問題の進展などが好感されたことなどを受けて円安に転じました。月後半は、ギリシャへ新たな金融支援を行うことが合意されたことなどから、揉み合いながらも円安となりました。

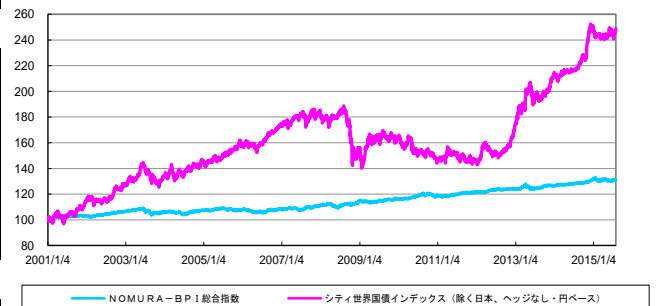
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

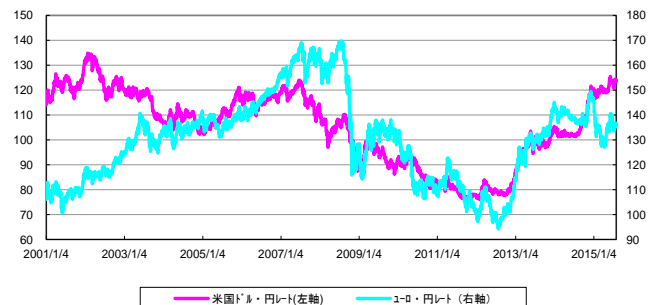


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

※ グラフ部分に訂正のお知らせがございます。

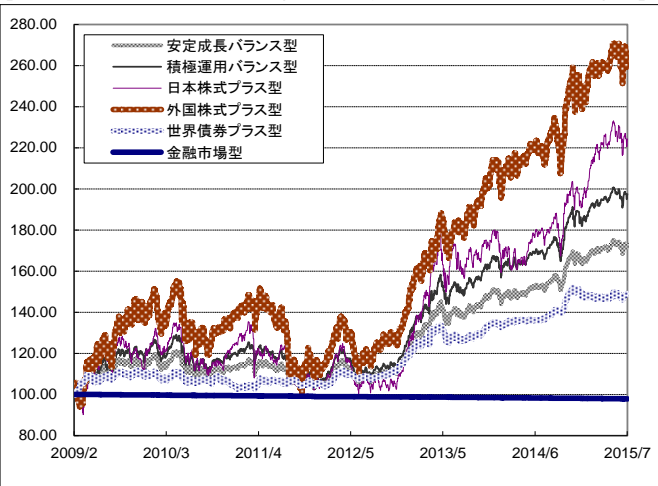
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2015年7月 末日現在]

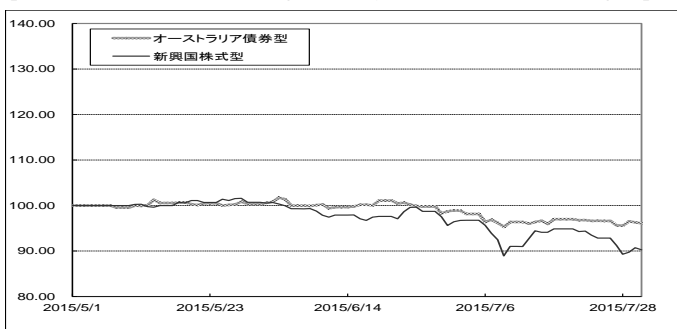
■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

[2009/2/1に運用を開始した各特別勘定のユニットプライスの推移]



[2015/5/1に運用を開始した各特別勘定のユニットプライスの推移]



※ ホームページに掲載しておりました5月分(7/9-8/18掲載)および6月分、4月-6月四半期分(8/11-8/18掲載)運用レポートの上記ユニットプライスの推移グラフに誤記載がございました。差替えを行い、現在は正しいグラフとなっております。詳細につきましては、上記対象の運用レポートをご覧ください。ご契約者様のご契約内容への影響はございません。ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。今後はこのような事のない様、ご契約者様向け資料につき、十分注意し作成していく所存でございますので、ご理解賜りたくよろしくお願い申し上げます。

		安定成長 バランス型	積極運用 バランス型	日本株式 プラス型	外国株式 プラス型	世界債券 プラス型	オーストラリア 債券型	新興国 株式型	金融市場型
ユニ ット プ ラ イ ス	2015年7月末	172.90	197.48	224.28	265.64	149.03	96.05	90.25	97.88
	2015年6月末	171.42	195.43	224.65	259.57	147.66	98.70	95.60	97.91
	2015年5月末	174.88	200.58	232.69	270.28	149.39	100.31	100.68	97.95
	2015年4月末	171.21	194.96	222.42	259.31	147.19	100.00	100.00	97.99
	2015年3月末	169.87	192.88	216.31	259.45	147.46	-	-	98.01
	2015年2月末	169.71	192.52	213.92	259.45	148.04	-	-	98.05
騰 落 率 (%))	過去1ヵ月	0.86	1.05	▲0.16	2.34	0.93	▲2.68	▲5.59	▲0.03
	過去3ヵ月	0.98	1.29	0.84	2.44	1.25	▲3.95	▲9.74	▲0.12
	過去6ヵ月	4.45	6.44	13.01	7.92	0.56	-	-	▲0.20
	過去1年	12.78	16.00	23.91	20.67	8.78	-	-	▲0.40
	過去3年	60.10	78.89	113.54	123.35	38.45	-	-	▲0.99
	(年率)	16.99	21.39	28.77	30.72	11.45	-	-	▲0.33
	過去5年	54.95	70.57	94.92	104.58	39.46	-	-	▲1.65
	(年率)	9.15	11.27	14.28	15.39	6.88	-	-	▲0.33
	設定来	72.90	97.48	124.29	165.64	49.04	▲3.95	▲9.74	▲2.12

※ オーストラリア債券型と新興国株式型の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2015年5月1日)の前日を100.00として、それ以外の特別勘定は設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認ください。

■特別勘定資産の内訳

項目	安定成長バランス型			積極運用バランス型		
	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)
現預金・その他	103,584	4.2	-	117,473	4.3	-
その他有価証券	2,373,688	95.8	100.0	2,585,322	95.7	100.0
日本株式	469,716	19.0	20.0	638,224	23.6	25.0
外国株式	482,071	19.5	20.0	916,665	33.9	35.0
日本債券	707,320	28.6	30.0	512,559	19.0	20.0
外国債券	714,579	28.8	30.0	517,873	19.2	20.0
合計	2,477,272	100.0	100.0	2,702,796	100.0	100.0

項目	日本株式プラス型		外国株式プラス型		世界債券プラス型	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	38,820	4.2	145,057	4.5	34,429	4.5
その他有価証券	893,749	95.8	3,096,155	95.5	731,066	95.5
合計	932,570	100.0	3,241,212	100.0	765,495	100.0
項目	オーストラリア債券型		新興国株式型		金融市場型	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	3,965	8.0	3,026	5.4	8,967	8.5
その他有価証券	45,361	92.0	53,209	94.6	96,533	91.5
合計	49,326	100.0	56,235	100.0	105,500	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

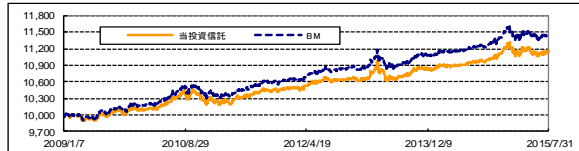
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定> [2015年7月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.26%	▲0.32%	▲0.57%	1.79%	4.85%	11.54%
BM	0.29%	▲0.25%	▲0.41%	2.13%	6.00%	14.69%
差	▲0.03%	▲0.07%	▲0.16%	▲0.34%	▲1.15%	▲3.15%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	第332 回利付国債	0.600%	2023年12月20日	1.14%	0.89%
2	第337 回利付国債	0.300%	2024年12月20日	1.05%	0.56%
3	第333 回利付国債	0.600%	2024年3月20日	1.02%	0.86%
4	第105 回利付国債	0.200%	2017年6月20日	1.00%	0.90%
5	第124 回利付国債	0.100%	2020年6月20日	1.00%	0.59%
6	第298 回利付国債	1.300%	2018年12月20日	0.98%	0.49%
7	第335 回利付国債	0.500%	2024年9月20日	0.95%	0.80%
8	第118 回利付国債	0.200%	2019年6月20日	0.95%	0.61%
9	第286 回利付国債	1.800%	2017年6月20日	0.91%	0.47%
10	第119 回利付国債	0.100%	2019年6月20日	0.88%	0.30%
合計				9.90%	6.48%
組入銘柄数				705銘柄	

※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

■当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数²)に連動した投資成果をめざします。

※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 債券種別資産構成比率

	マザーファンド	BM	差
国債	79.29%	80.64%	▲1.35%
地方債	6.03%	5.90%	0.13%
政府保証債	3.81%	3.50%	0.31%
金融債	0.95%	0.89%	0.06%
事業債	7.53%	7.18%	0.36%
円建外債	0.83%	0.63%	0.21%
MBS債	1.31%	1.27%	0.04%
コール・その他	0.24%	0.00%	0.24%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

※ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

※ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利回り	0.42%	0.41%	0.00%
平均クーポン	1.31%	1.21%	0.10%
平均残存期間	8.97	8.95	0.02
修正デュレーション	8.09	8.08	0.01

※「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。

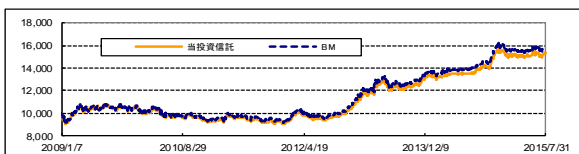
あくまで、計算日時時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

【参考情報】ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定> [2015年7月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.29%	1.64%	1.35%	12.64%	62.86%	53.66%
BM	1.32%	1.79%	1.63%	13.18%	65.16%	58.75%
差	▲0.03%	▲0.15%	▲0.28%	▲0.55%	▲2.30%	▲5.09%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	2.250%	2024年11月15日	0.84%	0.44%
2	アメリカ国債	米ドル	1.000%	2019年9月30日	0.83%	0.12%
3	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2025年2月15日	0.74%	0.43%
4	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2022年2月15日	0.74%	0.20%
5	アメリカ国債	米ドル	0.875%	2019年7月31日	0.72%	0.09%
6	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年11月15日	0.70%	0.27%
7	アメリカ国債	米ドル	2.500%	2024年5月15日	0.69%	0.43%
8	アメリカ国債	米ドル	0.875%	2016年11月30日	0.68%	0.23%
9	アメリカ国債	米ドル	0.625%	2016年12月15日	0.67%	0.20%
10	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年5月31日	0.65%	0.18%
合計					7.26%	2.60%
組入銘柄数					465銘柄	

※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

※ ベンチマーク(BM)の比率は2015年7月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場値で円換算したものです。

■当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2<適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティ世界国債インデックス³(除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート外国債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 組入上位10カ国

順位	国名	マザーファンド	BM
1	アメリカ	42.44%	42.61%
2	イタリア	9.80%	9.76%
3	フランス	9.62%	9.63%
4	イギリス	8.61%	8.63%
5	ドイツ	7.47%	7.51%
6	スペイン	5.32%	5.30%
7	ベルギー	2.59%	2.57%
8	オランダ	2.58%	2.56%
9	カナダ	2.12%	2.11%
10	オーストリア	1.61%	1.61%
合計		92.16%	92.29%

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利回り	1.31%	1.30%	0.01%
平均クーポン	3.35%	2.85%	0.50%
平均残存期間	8.03	7.90	0.13
修正デュレーション	6.62	6.58	0.03

※「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。

あくまで、計算日時時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

※ 上記の属性は2015年7月30日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

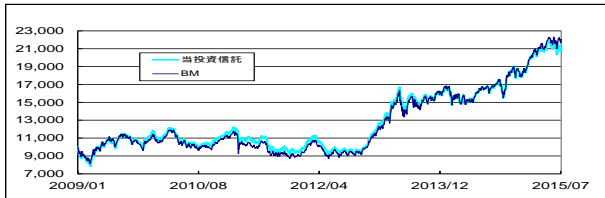
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」「特別勘定 日本株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2 [2015年7月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.11%	1.01%	13.83%	25.61%	121.72%	111.17%
BM	1.79%	4.37%	18.44%	31.11%	139.49%	120.57%
差	▲1.90%	▲3.36%	▲4.60%	▲5.50%	▲17.76%	▲9.40%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)¹⁾です。

・比率は、投資信託組入銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の詳細情報

○資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリュース株Mファンド*	50.00%	50.07%
グロース株Mファンド**	50.00%	50.29%
短期金融資産等	0.00%	-0.37%
合計	100.00%	100.00%

* バリュース株Mファンド: パースタイン・日本ストラテジック・バリュース株・マザーファンド受益証券

** グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

○業種別構成比率

業種	投資信託
1 輸送用機器	13.06%
2 電気機器	11.64%
3 銀行業	9.46%
4 情報・通信業	8.91%
5 小売業	7.22%
6 化学	5.97%
7 機械	5.47%
8 医薬品	4.17%
9 その他の業種	33.63%
10 現金等	0.47%
合計	100.00%

○市場別構成比率

市場	投資信託
東京証券取引所第一部	99.53%
現金等	0.47%
-	-
-	-
-	-
合計	100.00%

○組入上位10銘柄

銘柄	業種	投資信託
1 トヨタ自動車	輸送用機器	5.14%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.62%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.65%
4 日本電信電話	情報・通信業	3.17%
5 日産自動車	輸送用機器	2.34%
6 三菱商事	卸売業	2.20%
7 本田技研工業	輸送用機器	2.10%
8 SUMCO	金属製品	2.05%
9 キヤノン	電気機器	2.00%
10 住友電気工業	非鉄金属	1.82%
合計		29.10%
組入銘柄数		106銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲0.11%となりました。一方、ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数 配当込)の騰落率は、前月末比+1.79%となりました。(以下、バリュース株Mファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。)
ベンチマークとの比較では、バリュース株Mファンドは、セクター配分、銘柄選択ともにマイナスに寄りました。セクター配分では、生活必需品セクターのアンダーウェイトなどがマイナスに寄りました。銘柄選択では、テクノロジー・セクターなどにおける選択がマイナス寄となりました。グロース株Mファンドは、資本財・サービス・セクターや一般消費財・サービス・セクターなどにおける銘柄選択はマイナスに寄りましたものの、生活必需品セクターのオーバーウェイトなどはプラスに寄りました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。
引き続き投資スタイルの分散を行い、バリュース株Mファンドについては、企業のファンダメンタルズ分析に基づく個別銘柄選択を付加価値の源泉とした割安銘柄のポートフォリオ投資、グロース株Mファンドについては、綿密な個別企業の調査に基づいて、業績および潜在成長力が市場で過小評価されていると考える成長銘柄を中心に投資し、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

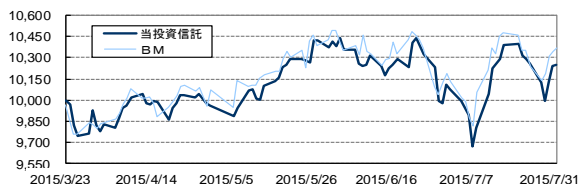
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」「特別勘定 外国株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募> [2015年7月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2015年3月23日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名(※1)】アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>
【委託会社(※2)】アクサ・インベストメント・マネージャー株式会社
【運用方針】

マザーファンドの受益証券への投資を通じて日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※ 当投資信託は、主としてアクサ IM・グローバル(日本除く)株式マザーファンド受益証券に投資します。

※1.2「適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・海外株式スタイル・フレンド・ファンド-1」(委託会社:アライアンス・バーンスタイン株式会社)は、2015年4月に償還手続きが開始され(2015年5月26日償還)ました。

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年3月23日)を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIロクサイ指数⁽⁵⁾(配当込み/グロス/日本円換算)です。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.56%	2.76%	—	—	—	2.50%
BM	3.28%	4.15%	—	—	—	3.67%
差	▲0.72%	▲1.39%	—	—	—	▲1.17%

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国別構成比率

	国名	マザーファンド
1	アメリカ	58.88%
2	イギリス	7.70%
3	カナダ	4.64%
4	フランス	4.36%
5	スイス	3.54%
6	ドイツ	3.46%
7	オーストラリア	2.82%
8	オランダ	2.27%
9	その他の国	10.96%
10	現金等	1.36%
合計		100.00%

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

○ セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	銀行	11.15%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	10.88%
3	ソフトウェア・サービス	7.02%
4	食品・飲料・タバコ	6.96%
5	エネルギー	5.69%
6	テクノロジー・ハードウェア	5.52%
7	資本財	5.36%
8	保険	5.17%
9	その他業種	40.90%
10	現金等	1.36%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.70%
2	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	1.43%
3	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	1.20%
4	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	1.10%
5	BANK OF AMERICA CORP	アメリカ	銀行	1.05%
6	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	0.97%
7	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.94%
8	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.91%
9	GILEAD SCIENCES INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	0.88%
10	MERCK & CO INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフ	0.87%
合計				12.05%
組入銘柄数				547銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+2.56%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIロクサイ指数(配当込み/グロス/日本円換算)の騰落率は前月末比+3.28%となりました。当月のグローバル(日本除く)株式市場は、株式の売買が活発に行なわれた銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた石油や石油メジャーが下落したことはプラスに寄与しました。地域別では上昇した北米地域の銘柄を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのAmgen Inc(アメリカ)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、少なめに保有していたソフトウェア・サービスのGoogle Inc-CL A(アメリカ)が上昇したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、日本を除く世界各国の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび3ページ~11ページに記載されている「*1~*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

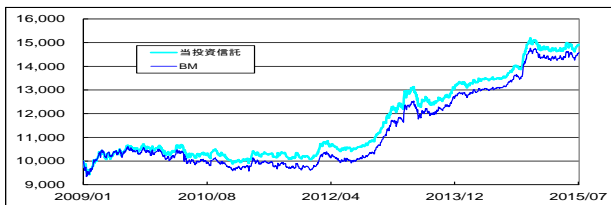
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- ・「特別勘定 世界債券プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンドー3 [2015年7月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
BM	1.02%	1.43%	0.82%	9.85%	42.43%	49.20%
差	▲0.20%	0.14%	▲0.52%	▲0.88%	▲3.83%	3.36%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(円ベース)¹⁶です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 アメリカ	36.29%
2 日本	16.13%
3 イギリス	9.81%
4 イタリア	7.08%
5 フランス	4.79%
6 オーストラリア	4.52%
7 スペイン	3.95%
8 ドイツ	2.24%
9 その他の国/地域	10.78%
10 現金等	4.40%
合計	100.00%

○ 格付別構成比率

格付	マザーファンド
AAA	51.68%
AA	23.06%
A	6.30%
BBB	14.55%
BB以下	0.00%
現金等	4.40%
合計	100.00%

格付基準:

※ ムーティーズ社またはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のうち、

いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

債券種別	マザーファンド
1 国債・政府機関債等	84.18%
2 社債	11.42%
3 現金等	4.40%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーティーズ	S&P	
1 米国国債	アメリカ	1.500%	2016年6月30日	Aaa	AA+	4.26%
2 米国国債	アメリカ	1.125%	2019年12月31日	Aaa	AA+	2.88%
3 米国国債	アメリカ	1.375%	2020年3月31日	Aaa	AA+	2.64%
4 日本国債	日本	1.500%	2019年3月20日	A1	AA-	2.18%
5 米国国債	アメリカ	1.375%	2020年4月30日	Aaa	AA+	2.11%
6 日本国債	日本	0.300%	2018年3月20日	A1	AA-	2.10%
7 オーストラリア国債	オーストラリア	5.250%	2019年3月15日	Aaa	AAA	2.09%
8 日本国債	日本	1.400%	2034年9月20日	A1	AA-	2.01%
9 米国国債	アメリカ	0.125%	2019年4月15日	Aaa	AA+	1.96%
10 日本国債	日本	1.600%	2033年3月20日	A1	AA-	1.88%
合計						24.09%
組入銘柄数						164銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+1.02%、一方、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス(円ベース)の騰落率は前月末比+1.21%となりました。ベンチマークとの比較では、マザーファンドにおけるユーロ圏の国債の銘柄選択などが主なプラス要因となった一方、ユーロ圏を低めの比率とした国別配分や、米国やイギリスにおける残存期間戦略などが主なマイナス要因となりました。マザーファンドのポートフォリオでは、国債については、米国国債などを買増した一方、イギリス国債などを一部売却しました。ユーロ圏の国債については、フランス国債やスペイン国債を買増した一方、オランダ国債やイタリア国債などを一部売却しました。社債についてはヘルスケア・セクターや情報テクノロジー・セクターの銘柄などを買増しました。

委託会社は、世界経済は緩やかな成長が続くと見えています。2015年は先進国の中では米国が成長を牽引し、2016年は新興国の景気減速に歯止めがかかり世界の経済成長率は加速すると考えています。国債については、日本については、相対的な魅力度の観点から組入れを低めとするほか、ユーロ圏については、主要国を中心に組入れを低めとする方針です。投資適格社債については、企業ファンダメンタルズは良好であり、景気回復の恩恵を受けることが期待できることなどから、現在の組入比率を維持する方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンドー3
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。※ 当投資信託は、主としてアライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	1.37%
平均クーポン	2.34%
平均残存期間	7.58
実効デュレーション	6.37

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

※ 「実効デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の感応度を示します。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

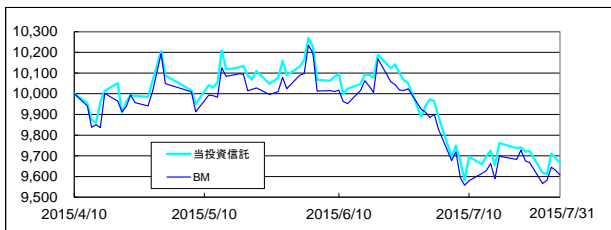
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- ・「特別勘定 オーストラリア債券型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用） [2015年7月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2015年4月10日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリア・ドル建の国債、州政府債、国際機関債および事業債などの公社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス⁷(円換算)をベンチマークとします。
※ 当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲2.80%	▲5.31%	-	-	-	▲3.36%
BM	▲3.06%	▲5.75%	-	-	-	▲3.93%
差	0.26%	0.44%	-	-	-	0.57%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年4月10日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス⁷(円換算)です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

国/地域別構成比率	国名	マザーファンド
1	オーストラリア	87.58%
2	香港	2.77%
3	-	-
4	-	-
5	-	-
6	-	-
7	-	-
8	その他の国/地域	0.00%
9	債券先物	0.00%
10	現金等	9.65%
合計		100.00%

○ 格付別構成比率

格付	マザーファンド
AAA	84.79%
AA	5.55%
A	0.00%
BBB	0.00%
BB以下	0.00%
債券先物	0.00%
現金等	9.65%
合計	100.00%

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のうち、いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

債券種別	マザーファンド
1 国債・政府機関債等	84.79%
2 社債	5.55%
3 債券先物	0.00%
4 現金等	9.65%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド	
				ムーディーズ	S&P		
1	オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2018年10月21日	Aaa	AAA	19.54%
2	オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2025年4月21日	Aaa	AAA	10.73%
3	オーストラリア国債	オーストラリア	5.250%	2019年3月15日	Aaa	AAA	7.27%
4	オーストラリア国債	オーストラリア	6.000%	2017年2月15日	Aaa	AAA	6.64%
5	オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2021年5月15日	Aaa	AAA	6.36%
6	オーストラリア国債	オーストラリア	5.500%	2023年4月21日	Aaa	AAA	5.37%
7	オーストラリア国債	オーストラリア	4.750%	2016年6月15日	Aaa	AAA	5.04%
8	オーストラリア国債	オーストラリア	4.250%	2026年4月21日	Aaa	AAA	5.01%
9	オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2029年4月21日	Aaa	AAA	4.52%
10	オーストラリア国債	オーストラリア	2.750%	2024年4月21日	Aaa	AAA	4.47%
合計							74.95%
組入銘柄数							15銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲2.80%、一方、ベンチマークであるブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス(円換算)の騰落率は前月末比▲3.06%となりました。

ベンチマークとの比較では、マザーファンドにおいて、金利の動きに対する感応度を小さめとしたことはマイナス要因だったものの、日本円を現金として保有していたことはプラス要因となりました。マザーファンドのポートフォリオでは、オーストラリア国債を中心に投資を行うとともに、相対的な魅力度が高いと判断したオーストラリア・ドル建ての社債への投資も行いました。

委託会社は、世界経済は緩やかな成長が続くと見えています。2015年は先進国の中では米国が成長を牽引し、2016年は新興国の景気減速に歯止めがかかり世界の経済成長率は加速すると考えています。オーストラリア中央銀行は5月5日に政策金利を過去最低となる2.00%に引き下げ、利下げサイクルはいったん終了したものの、同国経済の状況が一段と悪化した場合には追加利下げを行う可能性もあると見込んでいます。今後も引き続き、オーストラリア・ドル建ての国債、政府機関債、社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

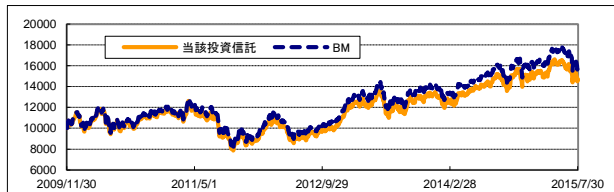
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- ・「特別勘定 新興国株式型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定> [2015年7月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年11月30日)を10,000として指数化しています。

■ 利用する投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート・エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的に新興国の株式市場(MSCIエマージング・マーケット・インデックス[®](円ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。

※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート・エマージング株式インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

■ 当投資信託の騰落率

投資信託	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲5.17%	▲11.09%	▲3.04%	1.00%	58.34%	46.55%
BM	▲5.20%	▲10.77%	▲1.77%	2.80%	62.61%	58.07%
差	0.03%	▲0.32%	▲1.27%	▲1.80%	▲4.28%	▲11.52%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年11月30日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス[®](円ベース)です。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 資産配分比率

	マザーファンド
外国株式	90.35%
株式先物	9.51%
短期金融資産等	0.15%
合計	100.00%

○ 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 中国	21.54%
2 韓国	12.93%
3 台湾	11.31%
4 株式先物	9.51%
5 インド	7.54%
6 南アフリカ	7.16%
7 ブラジル	6.43%
8 メキシコ	4.28%
9 その他の国/地域	19.16%
10 現金等	0.15%
合計	100.00%

○ セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 金融	26.90%
2 情報技術	15.72%
3 株式先物	9.51%
4 一般消費財・サービス	7.94%
5 生活必需品	7.71%
6 エネルギー	7.42%
7 電気通信サービス	6.74%
8 資本財・サービス	6.34%
9 その他のセクター	11.57%
10 現金等	0.15%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.85%
2 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	情報技術	半導体・半導体製造装置	2.66%
3 TENCENT HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	2.35%
4 CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	電気通信サービス	1.95%
5 CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	中国	金融	銀行	1.77%
6 NASPERS LTD	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア	1.36%
7 INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	中国	金融	銀行	1.26%
8 BANK OF CHINA LTD	中国	金融	銀行	1.07%
9 HON HAI PRECISION INDUSTRY CO LTD	台湾	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	0.87%
10 HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CO LTD	インド	金融	銀行	0.79%
合計				16.94%
組入銘柄数				482銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 運用環境

7月の新興国株式市場は、上旬にギリシャ債務問題を巡る不透明感や中国株式の急落が嫌気され大幅調整となりました。中旬に株価は一旦持ち直したものの、下旬に入ると中国株式の再調整や原油安などを背景に再び下落しました。

ラテンアメリカ市場では、ブラジル市場で原油価格の下落を受けて石油大手ペトロブラスを中心に売られたことや、格付会社ムーディーズが同国の信用格付けを引き下げるとの懸念が高まったことなどを背景に下落しました。

アジア市場では、ギリシャを巡る不透明感や中国株の下落を受けて大部分の市場で下落しました。国内景気減速懸念が強まったタイ市場で軟調だったほか、台湾市場では米アップル株の急落を受けてハイテク関連株を中心に調整しました。一方、原油安の恩恵を受けるとの見方が広がったことや構造改革への期待が高まったインド市場では上昇しました。

ヨーロッパ・中東・アフリカ地域では、トルコ市場で同国を取り巻く地政学リスクへの懸念が高まったことや、政治的不透明感が続いていることが嫌気され下落しました。南アフリカ市場では、原油や鉄鉱石価格の低迷を背景に資源関連株を中心に軟調な展開となりました。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

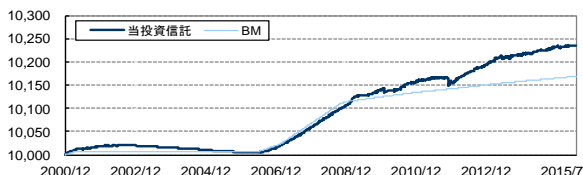
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の月次運用レポート（2015年7月）

- ・「特別勘定 金融市場型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募) [2015年7月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.01%	0.01%	0.05%	0.11%	0.56%	2.36%
BM	0.01%	0.02%	0.04%	0.07%	0.22%	1.69%
差	0.00%	▲0.01%	0.01%	0.04%	0.34%	0.67%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁹⁾により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	1.09年	85.34%
国債	0.00年	0.00%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	0.00年	0.00%
金融債	0.00年	0.00%
社債等	1.09年	85.34%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.14年	14.66%
CD		0.00%
CP		0.00%
T-Bill		3.81%
コールローン		10.85%
その他		0.00%
合計	0.95年	100.00%

○ 公社債の格別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	20.98%
A	79.02%
BBB	0.00%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準: ※ 海外格付機関の格付を優先します。

※ コールローンは格付別構成比率には含めていません。

(公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。)

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付を採用します。

※ T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。

※ T-Billに分類された1年未満の国債については「○公社債の格付別構成比率」に含めています。

※ 「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○ 短期資産等の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
P-1	0.00%
P-2	0.00%
P-3	0.00%
無格付	0.00%
合計	0.00%

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.01%、一方、ベンチマークである日本円無担保コールオーバーナイト物レートは前月末比+0.01%となりました。当月は中国本土株式市場が急落したことや米国の長期金利が低下したことなどから、日本国債利回りが低下する局面もありましたが、日銀の消費者物価目標の達成が難しい状況で金融緩和政策が長期化するとの見方が強まったことなどにより、当月末の2年国債利回りは前月末比0.001%上昇の0.010%となりました。委託会社は、日銀の量的金融緩和策を背景にして、日本国債利回りは低位で推移すると予想しています。今後の運用方針として、年限の短い国債への投資で流動性を確保しつつ、国債の組入れを減らしてクレジットリスクの低い社債へ投資して、安定した運用と利回りの向上をめざす方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 2ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*9」の用語説明は、11ページに記載しています。

用語説明

- *1 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- *2 「NOMURA-BPI総合指数」とは、日本国内で発行される公募固定利付債の流通市場動向を的確に表すために、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数です。NOMURA-BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当特別勘定の運用成果等に関し、一切責任はありません。
- *3 「シティ世界国債インデックス」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックスに対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *5 「MSCIコクサイ指数」とは、MSCI Inc.が日本を除く世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- *6 「シティ世界国債インデックス(円ベース)」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。シティ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *7 「ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス」は、ブルームバーグが算出・公表する指数で、オーストラリアの債券市場の値動きを表す代表的な指数です。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグ エル・ピーに帰属します。
- *8 「MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の株式の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。「MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス(円ベース)」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- *9 日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁹⁾について。コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの保険です。特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替リスク、派生商品取引のリスクなどがあり、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

＜保険料払込時および保険期間中にかかる費用＞（以下の各費用の合計額をご負担いただきます。）

●保険関係費

保険契約の締結、維持などに必要な費用を主契約の保険料から控除します。保険料からこの費用を控除した金額を特別勘定に繰り入れます。また、特別勘定に繰り入れた後に、死亡保障などに必要な費用を積立金額から定期的に控除します。なお、上記の費用は、被保険者の年齢、性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。契約条件に関する特約（08）を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます。特別保険料は特別勘定では運用いたしません。特別保険料は契約条件・特別条件承諾書でご確認ください。

●運用関係費

項目	費用(投資信託の純資産に対して)	ご負担いただく時期
運用関係費	安定成長バランス型 : 年率 0.53676%程度 (税抜:0.4970%程度) * 1	特別勘定にて 利用する投資信託において、 毎日、 投資信託の純資産額から 控除します。
	積極運用バランス型 : 年率 0.59454%程度 (税抜:0.5505%程度) * 1	
	日本株式プラス型 : 年率 1.02600%程度 (税抜:0.9500%程度)	
	外国株式プラス型 : 年率 0.54000%程度 (税抜:0.5000%程度)	
	世界債券プラス型 : 年率 0.70200%程度 (税抜:0.6500%程度)	
	オーストラリア債券型 : 年率 0.33480%程度 (税抜:0.3100%程度)	
	新興国株式型 : 年率 0.54000%程度 (税抜:0.5000%程度)	
金融市場型 : 年率 0.03510%~0.49680%程度 (税抜:0.0325%~0.4600%程度) * 2		

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬のほか、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料および消費税などの税金などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

* 1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

* 2 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

※ 安定成長バランス型、積極運用バランス型および外国株式プラス型の運用関係費は、2015年4月に新たに投資することになった投資信託の信託報酬率を元にしたものです。2015年4月に償還手続きが開始された(2015年5月26日償還)投資信託の信託報酬率を元にしたものは以下のとおりです。
安定成長バランス型:年率 0.63396%程度(税抜:0.587%程度)、積極運用バランス型:年率 0.76464%程度(税抜:0.708%程度)、
外国株式プラス型:年率 1.02600%程度(税抜:0.950%程度)。

＜解約時にかかる費用＞

●解約控除

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日における保険料払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数により計算した額	解約日の積立金額から控除します。

※ 解約控除額は保険料払込年月数、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

※ 基本保険金額を減額されたときは、減額分は解約されたものとしてお取扱いします。

※ 保険料払込年月数が10年未満の場合にユニット・リンク払済保険への変更などをされる場合にも解約控除がかかります。

＜積立金の移転に関わる費用＞

項目	時期	費用	備考
積立金 移転費用	積立金の 移転時	【書面による移転申込みの場合】 月1回1,500円、2回目からは1回につき2,300円	毎回の移転について積立金から控除します。
		【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき800円	

※ 積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

＜年金払特約(06)、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用＞

項目	費用	ご負担いただく時期
年金 管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年単位の契約応当日に責任準備金から控除します。

* 3年の確定年金の場合、年金額に対して0.99%

※ 年金管理費は、将来変更される可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>